

令和4年度

認定こども園 吉井にじいろこども園 事業報告書

佐世保市吉井町吉元 540 番 1

社会福祉法人ひなたの会

# 社会福祉法人ひなたの会

## 認定こども園 吉井にじいろこども園 事業報告

### 1. 事業報告にあたって

令和4年度は、コロナウイルス感染症により登園自粛やクラス閉鎖、開園時間の短縮を行いながら保育をする時期があり、子ども達のかげがえのない時間の中で発達をどう保障していくかという試行錯誤は今年度も日々続きました。職員のモチベーションを保つことが課題となる時期もありました。子ども達の為にという思いを持ち続けながら保育を行うことに必死だった1年でしたが、保護者の気持ちに寄り添いながら園の思いも伝え協力をお願いしていきました。

保育要領に表されている保育・養護・教育をよりどころとし、子ども一人ひとりに寄り添った保育計画の元、日々の明るく楽しい保育実践を続け、子ども達の日常を守って行く事、発達を保障して行く事を伝え保育を進めてきた事は保護者との信頼関係にも繋がっていると感じました。家族・保護者の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様からの温かいご支援、御協力を賜りましたことを心から感謝いたします。

### 2. 事業経営

定款の定める本法人事業目的のため、保育所型認定こども園を経営しました。

#### [全体総括]

子ども達の日常を守りながら、感染状況を見て行事の開催などを決定していく上で保護者の反応に今年度は少し変化がありました。それは「以前の様にしてほしい」という思いがより出てきたことです。園内の状況を考えると感染対策を緩和する状況にはない時、園以外の所で進められている感染対策の緩和を園も出来ないのかという意見などもありました。感染対策を緩和すること以外に出来る事は何か、今あるものを工夫して少しでも保護者の方の「子ども達の姿を見たい」という気持ちに寄り添いたいと、コロナ禍になって取り組んだ保育の祭典の内容を改めて考えました。又、お便りの内容や発行回数を見直し、写真掲示や動画上映の実施、送迎時の対話の工夫などにも取り組みました。そして実際に取り組む時に問われたのが職員の方でした。これは経験ではなく、チャレンジするパワーです。保護者や子ども達だけでなくコロナ禍を生き延びている職員も又、保育という仕事の中で変化することや工夫すること、チャレンジすること一つひとつへパワーが必要になっていました。職員1人ひとりがモチベーションをどう保つか、皆でどう支え合っていくかという事にも同時に向き合う時間になりました。その時間は継続している外部講師による毎月の研修時間も活かし、丁寧に進めました。子ども達の為にという思いを持ち続けながら保育を行うことに必死だった1年だと感じました。

年度末の保護者アンケートでは行事開催を求める意見や職員の姿に対する意見があり、保護者の安心感について園全体で振り返る機会となりました。又、アンケートに「子どもにとって家以外で安心していいところという認識がしっかりと感じられる様にしてもらっているのがとてもありがたい。」という言葉があり、それは園も大切にしていることだったので職員一同嬉しかったです。職員が保護者の方の言葉から「伝わっている。」と感じると嬉しさややりがいを感じる様に、保護者も子ども達も相手に伝わっている、受け止めてもらえていると感じる事が信頼関係、安心感に繋がっていくと改めてアンケートから学びました。

【保育を知ってもらう、子どもの発達を知ってもらう】をねらいとした保育の祭典ではその時の子どもの姿を通して保育を伝え、発達を伝えていきます。祭典後の懇談会で保護者の思いを聞く時間があります。その保護者の言葉に子どもの姿に寄り添う視点を感じる瞬間が増えてきました。子ども一人ひとりをしっかり受け止め、個を尊重し、自尊心を育むことで、友達や他人に対してのやさしさや思いやり、又、活動に取り組む意欲や集中力を育てる保育

は今年度も感染対策をしつつ、工夫し提供しました。食育計画に添っての毎日の給食は子ども達の健康には欠かせず、季節や子ども達の興味関心に応じた食育活動も展開しており、毎月のお弁当の日には家族の愛情を感じながら園庭や散歩先でのお弁当を楽しんでいます。保護者も、子ども達も、職員も吉井にじろこども園が1人ひとりの子どものより健やかな育ちを約束し、実践できる施設であることを実感し過ごしています。年長組は大宮プール教室や乗馬教室に通う体験活動からも成長を感じました。園庭内の「えがおの家」では、子育て支援、学童保育事業に取り組み、地域の小学校に就学した卒園児の多くが利用するなど事業の必要性も実感している所です。令和4年度も皆様のご協力のもと、子どもの最善の利益を目指しながら、子ども主体で保育をすすめて、子ども達の心身の成長を実感する1年となりました。今後とも一層の保育の充実を図り、皆様と協力しながら歩いていく所存です。

【職員の状況】

職名	令和4年4月1日の職員数				年間退任・就任						令和5年4月1日の職員数				
	正規職員	有期契約職員		計	正規職員		有期契約職員				計	正規職員	有期契約職員		実人員合計
		契約職員	パート		就任	退任	契約職員		パート						
							就任	退任	就任	退任					
園長	1			1								1			1
事務長	1			1								1			1
保育士	17	1	1	19								17		1	18
看護師			1	1										1	1
調理員	3			3								3			3
用務員															
事務員	1			1								1			1
副園長	1			1								1			1
保育補助															
嘱託医		2		2									2		2
計	24	3	2	29								24	2	2	28

[施設運営状況]

入所状況については、4月72名でスタートし、年平均74.8名となっています。

2.3号認定については年度初めより利用定員に近い入所者数となっておりますが、1号認定については入所者数に余裕のある状況となっております。

年度中に、育休取得者が3名でした。求人を行い保育士の確保も出来、保育に支障が無い状態の中で保育を行うことが出来ました。

時間延長、一時保育、障がい児保育、看護師配置は補助事業となり運営の安定化に繋がりました。

[利用者支援状況]

子育て支援、家庭支援の重要性を年々感じ、状況に応じた職員体制や保育内容等を整備しながら子どもたちが安定した生活が出来るよう対応しました。

年間変形労働制により子どもたちと担任の関わりを深く親密なものとし、一人ひとりの子どもの発達特性を確認しながら寄り添い、子どもの主体性を尊重し、達成感、満足感を体験できるよう取り組み、保育士間の連携、努力により目的どおり保育をすることができました。

「気になる子ども」への対応については園に講師を招き、園内研修を行いながら職員のスキルアップを計ると共に、保護者との信頼関係を築きながら、子どもに対する共通理解を深められるよう取り組みました。

アレルギー対応については、保護者・園長・看護師・栄養士・担任が一同に会し、話し合うことで共通理解を深め、子どもひとりひとりに配慮した食事の提供を行い、誤配・誤食等の発生防止に努めました。

[施設整備状況]

・現園舎園庭の維持管理に努めました。

[年間利用状況] (各月月末人員)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	平均
男児	33	33	33	33	34	35	36	37	36	36	35	35	416	34.6
女児	39	40	40	39	39	40	40	41	41	41	41	41	482	40.1
計	72	73	73	72	73	75	76	78	77	77	76	76	898	74.8

[利用者状況推移] (各年度3月1日現在)

年度	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	計
29年度	18	14	13	13	9	12	79
30年度	16	15	17	14	15	9	86
R1年度	14	13	17	17	14	15	90
2年度	15	15	15	15	17	11	88
3年度	14	13	16	17	14	17	91
4年度	12	8	12	15	15	14	76

[主な行事] 令和4年度

4月	入園式	10月	稲刈り
	身体測定(毎月)	11月	七五三参り
	火災避難訓練(毎月1~2回)		芋ほり
	おべんとうの日(毎月)		味噌づくり
	保育の祭典(各クラス、年数回)	12月	もちつき
5月	ぎょう虫検査		クリスマス会
	尿検査(年2回、11月)	1月	どんど焼き
	内科検診(年2回、11月)	2月	節分集会
	歯科検診	3月	ひな祭り集会
	不審者侵入避難訓練(年4回)		お別れ遠足
6月	個人面談		卒園式
	田植え		
	芋苗植え		
	水遊び(6~8月)		
	プール(年長児のみ6月~3月)		
	乗馬(年長児のみ6月~3月)		

[その他について]

① 安全管理

- ・防災訓練 毎月1回避難訓練、消火訓練、通報訓練を実施
- ・不審者侵入対応訓練 地元警察・地域住民との連携訓練
- ・健康管理 園児・職員の定期診断及び調理・保育士全員の細菌検査を毎月実施

インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、大腸菌感染症等の発病時には速やかに保護者に通達し協力を仰ぐ

- ・安全管理 園庭遊具の週1回の点検

②地域交流

茶話の里へよさこい披露、南小学校との交流会

3. 苦情内容及び結果の公表

今村有希子、川内野公隆、吉田恵美子

なし